

阿蘇世界文化遺産リレーコラム～わがまち自慢の文化遺産～

阿蘇世界文化遺産リレーコラム第2回は、阿蘇市から「北外輪山からの眺望」についてのご紹介です。

第2回

北外輪山からの眺望

担当：阿蘇市

北外輪山から望む阿蘇の景観は、前方を見渡せば阿蘇五岳がそびえたち、左右に標高差300～500mの雄大なカルデラ壁が連なります。今の季節にはいくつかの条件が揃えば雲海を見る事ができ、雲海の上に横たわる涅槃像の姿は阿蘇に住むわたしたちが見ても感動を覚えます。また、眼下には阿蘇谷の田園風景が広がり、なかでも田植え後の水田は一面が鏡のように光り輝き、平地では水を張った水田に映る「逆さ涅槃像」が現れます。

そのまわりに目を移せば、人々の維持管理によって守られてきた広大な草地景観が広がり、阿蘇の雄大さを改めて感じる事ができます。このすばらしい景観の全てが、人々と自然が造り出す『文化的景観』であり、阿蘇ならではの風

景そのものです。

世界文化遺産に登録されるには、いつの時代に誰が見ても素晴らしいと思える価値があり、さらにその価値を将来に亘って守っていく事が条件となります。この阿蘇のすばらしい『文化的景観』を、阿蘇に暮らすわたしたちの手で守り続けましょう。



次回は、南小国町の「わがまち自慢の文化遺産」についてご紹介します！



図書館だより **図書館へ行こう！**

問い合わせ：阿蘇図書館 ☎32-0067
一の宮図書館 ☎22-2916

■移動図書館「あそ号」巡回日程

日程	巡回場所及び予定時間					
11月21日 日 12月19日 日	阿蘇図書館 8:55	山田公民館 9:05～9:20	下の原公民館 9:30～9:50	西役犬原公民館 10:00～10:20	竹原公民館 10:30～10:45	猿渡製材所 10:55～11:10
	坊中公民館 11:20～11:35	佐伯商会前 11:40～12:00	くんわの里 12:10～12:30	枳天満宮 14:20～14:40	赤水駅 14:50～15:10	
	宮本酒店前 15:20～15:40	上の小屋バス停南 15:50～16:10	たちばな園 16:20～16:40	阿蘇図書館 16:50		
※阿蘇地区は、8月より巡回コースと時間を一部変更しています。						
11月22日 日 12月20日 日	一の宮図書館 9:30	波野保健福祉センター 10:00～10:30	坂梨公民館 11:00～11:20	古城公民館 11:30～11:50	一の宮図書館 12:05	

■11月のおはなし会

●とき 11月24日 日 午後2時から ●ところ 阿蘇図書館おはなしコーナー

医療法人社団 坂梨会
地域支援センター

あなたの在宅生活を応援します

春草苑

- 居宅介護支援事業所
- 訪問介護事業所

0967-32-4021

阿蘇温泉病院

- 訪問診察・看護
- 訪問リハビリ

0967-32-0881

愛・ライフ内牧

- 通所リハビリ
- 配食サービス

0967-32-5511

広告



《テーマ：2学期の目標は？》

運動会の練習とじきゅう走大会をがんばる。

(尾ヶ石東部小4年・佐藤 優太)

広報あそ
2012.11

26

子育て支援センター情報

11月・12月

市では3ヶ所の子育て支援センターを開設しています。どのセンターも自由にご利用いただけます。

のんびり広場

- 場所 波野保育園内
 - 開放日 月～金曜
 - 時間 9:00～14:00
 - 電話 24-2800
- ※お知らせ端末同番号

活動内容

11月

- 14日 ㊦: プラパンを楽しもう
- 21日 ㊦: 誕生会・計測日
発表会の準備をしよう
- 28日 ㊦: リースを作ろう

12月

- 7日 ㊦: 波野保育園の発表会に参加しよう



すくすく広場

- 場所 一の宮子育て支援センター(りんどう保育園横)
 - 開放日 月～土曜
 - 時間 8:00～17:00
(土曜は12:00まで)
 - 電話 22-4539
- ※お知らせ端末同番号

活動内容

11月

- 13日 ㊦: 落ち葉・木の実拾い
(10:30 散歩に出発)
- 15日 ㊦: リース作り(10組限定)
※要予約
- 22日 ㊦: わいわい子育て相談会
(乳幼児健診医: 江崎真澄先生による相談会)
- 27日 ㊦: 誕生会・計測日(スタンプリールを楽しもう)

12月

- 4日 ㊦: お正月飾り作り(10組限定) ※要予約
- 6日 ㊦: 編み物教室(髪飾りを作りましょう→毛糸・鍵針持参)

ぴよぴよ広場

- 場所 阿蘇市役犬原児童館
(役犬原12番地)
- 開放日 月～金曜(第2土曜開所)
- 時間 9:00～17:00
- 電話 34-1633

活動内容

11月

- 12日 ㊦: 食生活改善推進員さんによる料理教室(9:40 農村環境改善センター集合) ※要予約
- 14日 ㊦: 不用品交換会・お店屋さんごっこ
- 21日 ㊦: 誕生会・おはなし会(アップルさん)
- 28日 ㊦: 親子ふれあい体操(大塚美和氏)

12月

- 5日 ㊦: 計測日・クリスマス飾り作り

阿蘇市子育て支援センター(三久保)の改修工事が完了するまで、開設場所を阿蘇市役犬原児童館に変更しています。

※各所では育児相談を随時受け付けています。電話相談も可能です。(一の宮子育て支援センターは育児相談専用☎22-3850まで)

お元気ですか? 食生活改善推進員協議会



調査報告では、「生活習慣病を、身近に感じた」「成長する為にはビタミンが大切」等の気づきがあり、地域の食材では、

波野中学校3年生と一緒に、6月19日・9月7日・9月19日の三日間、ヘルスサポーター21事業を実施しました。今年「自分の食生活を振り返り、生活習慣病を学ぶ」をテーマに、①生活習慣病と食②体作りと食③地域の食材の三班に分かれて調査をしました。

波野中学校3年生と

ヘルスサポーター21
波野中学校3年生と学ぶ

調理実習は、波野の特産品であり、中学生が好きな食材の一番に選んだ、キャベツとそばを使って、①ロールキャベツ②そばサラダ③カボチャのスープ④牛乳もちを作りました。牛乳もちについては、牛乳と片栗粉で簡単に作れた為、「家族に作って食べさせた」と好評でした。

阿蘇中央高校清峰校舎で開発された「白いちご」に出会い、「もっと宣伝したい」との報告がありました。



お元気ですか? 食生活改善推進員協議会

人権作文

家族や身近な人との関係を見つめ話し合おう。差別について話そう機会を持とう。

牛が生まれた

波野小学校 六年
市原 朱沙

駅伝から帰るとお父さんが、

「今から、朝生まれた牛をばあちゃんとおばちゃんと三人で見に行くん。」

と言いました。私も子牛が見たかったので、「私も行く。」

と言いました。

トラックと軽トラで行きました。途中で道があれでいたので、トラックが走れなくなり、軽トラに三人で乗りかえ、山を上っていきまし。行く途中ぐらぐら

揺れていたの、

「うああああ。」と声を出してみしました。声が揺れておもしろかったです。

草原に着くと、お父さんは

「親牛があそこにいるけん。子ば、さがせ。」

と言いました。探しているとおばちゃんが子牛を見つけて

「ここにおるばい。」と私たちを呼びました。

牛の子は草原に寝ていました。ぬるぬるとして体は茶色の毛が張り付いていました。牛を見たとき（めすの赤ちゃんの大きないな）と思い、なんだかわくわくしました。ばあちゃんとお父さんは、親牛を見に行きました。私はずっとそばで子牛を見ていました。

子牛は、雨が降っていたので、ぶるぶる震えていました。そこで、おばちゃん「これ使えない。」

と言って、持ってきた古着を私に渡してくれました。古着をかけようすると子牛はブルル、ブルルと体をふっていやがっていました。（体、ふかないかとに）と私は思いました。

いやがっている子牛にかまわずに、おばちゃん私古着で体をふこうとすると牛は逃げようとしてました。

ふらふら逃げてみすぐ休んでしまうので、私たちは追いかけて、体をふき続けました。

牛はべとべとがとれてふさふさの体になっていきました。（これでいいかな）と私は思いました。

お父さんが、「子牛は、家に連れて帰るぞ。」

と言いました。そこで、お父さんと二人で子牛を押さえて、お父さんが抱えて軽トラの荷台にのせました。

「こら重い。」

と言ったのせました。私は（重いのに、お父

さんは、よう持ちきなな）と思いました。軽トラの上には私とお父さんがのって、トラックに着くまでの間、牛を押さえつけました。牛は、じっとしていたのですが、軽トラが揺れるので、荷台の壁にどんとあたりました。私は、

「痛そう。」

と言いました。私も雨でびしょびしょで寒くなりました。（寒いなあ）と思っていると

もう一台のトラックに着きました。お父さんは子牛を荷台にのせると

「これを着ろ。」

と言って私に服を渡してくれました。私は（助かった）と思いがら

「ありがとう。」

と言って牛の隣にうずくまりながら牛を押さえました。

根子岳からトラックで家まで連れて帰りました。トラックの荷台に一緒にのっている

なって、ぼーっとしてました。私は、（動き回ったからつかれたんだなあ）

と思いました。

家につくと、お父さんが連絡していた知り合いの人にミルクを飲ませるほ乳瓶を借りました。ミルクをやるほ

乳瓶はプラスチックでできていて、二しぐらい入れることができ

ます。子牛が口を含むところは、人の親指が突き出た様な形になっ

ていて、四角の容器にながっています。ほ乳瓶を見ると本当に大

きく私は（でっかいなあ）と思いました。

お父さんとおばちゃんがお湯と水を家から持ってきて、粉ミルク

をつくりました。ミルクが冷めないようにバケツにお湯をついでき

て、ほ乳瓶を中に入れて、暖めながら飲ませ

ました。私がほ乳瓶をさわろうとすると、おばあちゃんが

「あんた、風邪ひくけん。家で着替えてきな

い。」

と言いました。私は少し（ほ乳瓶に触りたい）と思っただけ、すぐに家に戻って着替えました。

トラックのそばにくとお父さんに

「牛に毛布をかけとつてくれ。」

と言われました。だから倉庫にあった毛布を牛にかけてあげました。毛布をかけると、

おばあちゃんが、「朱沙、ご飯ばい。」

と言うので昼ご飯を食べました。ご飯を食べ終わるとお父さんに

「牛を見てください。」

と言われたので、牛を見に行くと、毛布が顔だけに引かかっています。幽霊みたいになっていました。前が見えなくなつた牛は、興奮して、トラックの柵に

と言いました。毛布を取ってやると、やっと落ち着いたようでした。

お父さんは、トラックから子牛をだっこして、庭にある馬が昔いた小屋の中に入れようとお父さんが牛を下ろし、歩かせようとしたが、牛はまっすぐ歩きません。お父さんは、黙って、一生懸命牛のおしりを押しまし



※写真はイメージです。

お父さんが横から押して私は牛を誘導してやっと牛小屋に入れることができました。

牛小屋に入って、牛の顔をなでてやると、すぐく近づいてきます。牛を観察すると、牛の鼻が、はなでかカメラみたいに見えます。顔の大きさに比べて鼻が大きいので（なんじゃこりゃ）と思いました。牛の子が、「ふっふっ。」

と鼻で（私の）顔のにおいをかきながら近づ

いてきます。笑いが込みあげてきますが、牛がびっくりするといけないので、笑いをこらえました。そうしている

出すと、牛は私の指にも吸い付いてきました。指に吸い付かれると指が下の歯に当たって痛かったです。後でおばあちゃんに、「指をすわれると指が千切れるかもしれんばい。」

と言いつつ、離れていくと牛の子の目から涙がこぼれていました。

（げっ、はずかしいな）と思ったけど（まいったか）と思ったので、私の書いた文を途中でみんなに発表しました。みんなは、「あやちゃん、ふらふらしている牛を追いかけてすごいなあ。」

「あーあ、すわった。」

と言われましたが私は、

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

と言いました。しばらくすると、四つんばい

「だいじょぶっちゃ。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

になつてきりんみたいな格好で寝てしまいました。私たちが家に帰りました。四時ぐらい

「そろそろ帰ろうか。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

でした。

「そろそろ帰ろうか。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

ご飯を食べ、夜の九時ぐらいになるとお父さんが家にいないので外に出てみました。するとお父さんが子牛に

「もぉー。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

ミルクをあげていました。子牛のミルクを吸う力はとても強そう

と鳴きました。見ると、牛の子が、柵から出ようとして、登ったり、思いつきり飛んだりしています。まるで、（もつと、ミルク

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

が欲しい。一緒に歩いて行きたい）と言っているようでした。お父

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

さんは、牛の子の様子を見て、

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

「こら、もう出るばい。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「あやちゃん、これみんなに読んでいいかい。」

「親がおらんけん、やっぱ、さびしいっちゃねえかな。」

「あやちゃん、いいな。ミルクやるのは、楽しそう。」